

九州観光ビジネスプランコンテスト 2023

事業計画書

提出日 2023 年 10 月 27日

学 校 名	北九州市立大学		
学部・学科名	法学部・政策科学科		
チ ャーム 名 (個人参加の場合は任意)	T.I.Lab	エントリー No.	17
1. 取り組みテーマについて(なぜこのテーマに取り組んだのか)			
テーマ:「九州ミステリーツアー」 ・現状および課題認識 九州には多種多様な観光地が存在する。しかしながら、九州といえば、大宰府や門司港、別府、阿蘇など有名な観光地しか思い浮かばないという人も少なくない。 観光情報サイトや旅行雑誌などでは、大宰府や門司港などの有名観光地が人気ランキング上位として紹介されており、多くの観光客が上位人気の観光地に集中してしまっている。 また、新型コロナウイルス感染症による規制が解除されたことにより、今後さらに国内からの観光客や訪日観光客も増加していくと考えられる。そうなった場合に、京都などで問題となっているオーバーツーリズムが九州でも問題化してくることも考えられる。 上記のことから私たちは、九州内外の人たちにも大宰府など有名な観光地だけでなく、小規模だけど有名な観光地と遜色ない素晴らしい体験ができる観光地があるということを知ってもらうためにどうすればいいかを考えた。 人の性質として口コミが少ない場所やあまり有名でない場所に自分から進んで行こうとはならない場合が多い傾向にある。 そこで我々が提案するのは、「九州ミステリーツアー」である。九州ミステリーツアーは、行き先を運営側が設定することで、観光資源を活かしきれていない地域にも観光客を訪れさせることができると考え、このテーマに取り組んだ。			
2. 課題解決に向けた新たなアイデアについて			
1の課題を解決するためのアイデアとして「九州ミステリーツアー」を提案する。九州ミステリーツアーはその名の通り、訪れる観光地が当日になるまで明かされないという、今までの旅行とは真逆の旅行を提供することができる。九州ミステリーツアーと類似したサービスとして、格安航空会社の Peach Aviation 株式会社が行っている「旅くじ」が挙げられる。旅くじは、行き先だけが無条件で決まってしまう。一方で我々が提案する九州ミステリーツアーは行き先を運営が決めるものの、利用客のアンケートやフィードバックに基づいたツアーを計画するため、万が一にも興味のない観光地を訪れるということを避けることができる点が特徴である。加えて、PDCA サイクルを用いることにより、1 回目より 2 回目、2 回目より 3 回目という風に利用回数が増えるごとに利用客の興味関心をより細かく分析し、より利用客が興味関心を持つツアーを設定するため、利用回数と比例して満足度も増加していく。			
3. 九州や地域社会への影響について			
・新たなアイデアが九州や地域に及ぼす効果(誘客、活性化等)はどうか。 御朱印集めが趣味の人や絶景巡りが趣味の人など、一人ひとり様々な興味関心をもっている。言い換えれば、どんな観光地にも興味関心を持つ人がいるということである。九州ミステリーツアーは、有名か否かで行き			

先を定めず、利用者が行ったことがなく、利用者の興味関心がマッチする観光地を目的地に定める。そのため、情報サイトでなかなか取り上げられない観光地であっても行く価値があると判断すれば、目的地となり得る。

九州ミステリーツアーの利用者が増加していくにつれて、マイナーな観光地であっても観光客が増加し、地域の活性化を促すきっかけとなる。また、観光客のなかには訪れたまちに惚れてそのまま移住するという人も出てくると考えている。

4. 事業化に向けたビジネスモデルについての具体的な紹介

- ・商品・サービス・ノウハウなどを分かりやすくご説明ください。
- ・「事業収入(提供金額)」「費用(事業コスト)」「告知手法」等を可能な限り記述してください。

(1) 九州ミステリーツアーについて

九州ミステリーツアーでは、目的地が分かるのは当日集合してから発表する。

例えば、屋外で活動することが多い場合、日焼け止めクリームなどが必要となるが、そういった必要になると思われる物は、事前に通知するため、純粋に旅を楽しむことができる。

(2) 販売価格

九州ミステリーツアーの一人当たりの料金は 30,000 円からを想定している。アンケートで旅行期間や利用する交通機関、宿泊先のランクなどを回答してもらいそれに応じたツアーを設定するため価格は変動する見込みとなっている。

(3) 事業コスト

九州ミステリーツアーに掛かる主な費用として、人件費とサイト運営費が挙げられ、月間で1,500,000 円を見込んでいる。

1,500,000 円という数字は九州ミステリーツアーを独自で運営した場合のコストとなっており、例えば、大手旅行会社との提携を結ぶことができれば、社内のリソースを活用し、さらに事業コストを削減できている。

(4) 告知方法

TV などに広告を挙げるのが主流ではあるが、広告宣伝費を抑えるために、TikTok や YouTube などに我々で制作した動画をバズらせることにより、集客を図りたいと考えている。また、SNS で旅系 YouTuber などの観光の動画投稿を主としたインフルエンサーを招待することによって、さらにこの企画の知名度などを上げる。

(5) 九州ミステリーツアーの実例（設定：離島に興味のあるグループで 1 泊 2 日の九州ミステリーツアー）

ツアー前 アンケートを取り、興味関心のある分野や予算などを回答してもらう。

1 日目

9:00 JR 小倉駅に集合(この時点で目的地を発表) JR 鹿児島本線特急ソニックで宇佐駅へ。

10:00 宇佐駅に到着。用意した車両で国東市伊美港へ。

11:00 フェリーに乗り姫島へ

11:30 昼食(地元食材で作った料理を提供)

13:00 姫島七不思議と呼ばれるスポットを中心にレンタサイクルもしくはレンタカーで周遊。

18:00 宿泊先で食事後自由時間

2 日目

9:00 チェックアウト後14:00まで自由時間

14:10 姫島出発

14:40 国東市伊美港から車両で宇佐駅へ

16:50 宇佐駅から小倉駅へ。小倉駅へ到着し次第解散。

ツアー終了後、利用者からフィードバックをもらい、利用者の興味関心などの分析を行う。

5. 事業化後の目標、継続可能性や将来のイメージなどについて

(1) 事業化後の目標

- ① 年間利用者数5,000人とし、初年度から黒字経営を目指す。
- ② 個人だけでなく、法人にも利用(社員旅行など)してもらおう。
- ③ 九州各県とコラボし、九州ミステリーツアーの利用促進キャンペーンを行う。

(2) 継続可能性、将来のイメージ

九州ミステリーツアーは最初の1年が勝負であると考えている。遅くとも一年後には、競合他社が参入してくることが考えられる。そのため、最初の1年でいかに知名度をあげ、「ミステリーツアーといえば九州ミステリーツアー」という認識を持ってもらえるようにする必要がある。

<記入上の注意>

- ・各項目の文字数の制限はありませんが、計画書全体で最大A4用紙片面3枚以内に収めてください。
 - ・各項目の詳細説明のため概要図・グラフ・画像などの挿入や添付も可と致します。
- なお、解像度に画像が荒くなる場合がありますので、使用するフォントや写真等には留意下さい。